

サロベツ再生通信 2019.7発行 第29号

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
豊富町
環境省北海道地方環境事務所
北海道開発局稚内開発建設部
北海道宗谷総合振興局稚内建設管理部
林野庁北海道森林管理局

第24回再生技術部会の開催

令和元年6月20日（木）13時30分より、豊富町定住支援センター（ふらっと★きた）多目的ホールにおいて、第24回再生技術部会が会員37名ほか、一般傍聴者を含め約47名の参加により開催されました。

会議では、北海道開発局稚内開発建設部から「緩衝帯・沈砂池のモニタリング」について、環境省北海道地方環境事務所から「自然再生事業の実施状況」について、林野庁北海道森林管理局から「稚内砂丘林自然再生事業の実施状況」について報告があり、事務局より平成30年度の行事報告がされました。

報告に対して、参加者からは意見や質問が相次ぎ、活発な議論が行われました。中でも、新たに加入された方の質問により、長年続けてきた取り組みを振り返るいい機会となりました。また、今後の課題として、調査データの集約をしていくことと、部会発足時は問題としていなかったエゾシカについても検討が必要になってくることが認識できました。

最後に、今年度の技術部会の開催（案）として、12月に第25回部会開催予定が提案され、承認されました。ご興味をお持ちの方は、お気軽にお越し下さい！



【会議の冒頭、挨拶する井上座長】



【北海道開発局稚内開発建設部】



【環境省北海道地方環境事務所】



【林野庁北海道森林管理局】

第18回上サロベツ自然再生協議会

～第8期 上サロベツ自然再生協議会始動～

再生技術部会に引き続き、上サロベツ自然再生協議会が開催されました。

各部会の開催報告が、再生技術部会は井上座長より、再生普及部会は吉村座長よりそれぞれ行われ、事務局より第7期協議会の活動経緯についても報告されました。

その後、平成31年3月までに行った第8期会員の募集結果について事務局より報告があり、個人会員24名、団体関係機関20団体の合わせて44名の会員となりました。続いて役員を選出が行われ、まず協議会会長に梅田安治氏、会長代理に小泉副町長が選出されました。そして、再生技術部会の座長には井上京氏、座長代理は西島今朝悟氏、再生普及部会座長には吉村穰滋氏、座長代理は田中美佐保氏が選出されました。

最後に、情報提供として、環境省稚内自然保護官事務所より「自然再生の社会的評価プロジェクトチームによる、評価手法開発に向けたヒアリング」についての紹介と、認定NPO法人サロベツ・エコ・ネットワークより「自然再生全国会議参加報告」がありました。

議事が滞りなく進み、河田町長による挨拶により、第18回上サロベツ自然再生協議会は幕を閉じ、第8期（令和元年7月～令和3年6月）のスタートが切られました。



【上サロベツ自然再生協議会開催の様子】



【豊富町河田町長による挨拶】

協議会と技術部会が行われた令和元年6月は、サロベツ湿原で霜害がなかったため、5年ぶりにエゾカンゾウが一面に咲き誇りました。他の花々と相まって、天然の花園を楽しめました。



【エゾカンゾウ】



【白：コバイケイソウ
紫：カキツバタ】